

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	自治体が実施する効果的な介護予防事業のコンテンツ開発に関する研究				
研究組織	代表者	所属・職名	経営情報学部・教授	氏名	東野 定律
	研究分担者	所属・職名	経営情報学部・講師	氏名	木村 綾
		所属・職名	静岡市健康長寿局地域包括ケア推進本部	氏名	木下 晴美
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	経営情報学部・教授	氏名	東野 定律

講演題目	自治体が実施する効果的な介護予防事業の在り方
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>超高齢社会の中で、わが国では生涯現役社会を実現するために、効果的な介護予防事業を展開することによって高齢者の自立を促し、元気な高齢者を増やすための介護予防活動普及展開事業を平成30年から実施している。</p> <p>一方、社会参加と介護予防効果の関係について、厚生労働省はスポーツやボランティア、趣味関係のグループ等への社会参加の割合が高い地域ほど、転倒や認知症やうつリスクが低い傾向がみられるなど予防給付の見直しと生活支援サービスの充実のために、市町村において地域の実情に応じた取組をすすめるとともに、既存のサービスに加えて、NPO、民間企業、ボランティアなど地域の多様な主体を活用した取組を進めているところである。</p> <p>しかし、どのような介護予防事業の内容についてどれくらいの効果が示されるのか、ほとんどが臨床知に基づくものであり、定量的なデータに基づく体系化された研究は少ない状況にある。</p> <p>そこで本研究では、自治体において展開されている認知症予防などはじめとする介護予防事業内容を調査し、これらの事業の効果について、地域の利用者や介護に関わるデータを収集し、事業内容との関係について分析することから、自治体を実施する効果的な介護予防事業のコンテンツとその提供方法について明らかにすることを目的とし、以下の内容を実施した。</p> <p>「静岡市認知症ケア推進センター」かけこまち七間町”で実施したアンケート調査の結果を分析し、認知症予防および啓発に必要な内容の検討を行った。</p> <p>また、他の自治体において実施されている介護予防事業および認知症予防事業の先進的な取り組みについて調査し、地域の中で展開すべき予防事業の内容について、具体的な方法の検討を行った。</p> <p>本年度については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、地域の活動がなかなか実施できないという局面に見舞われたが、遠隔での交流会の実施やコミュニケーションの場の提供などあらたしい形での地域の予防活動が展開されていたことが明らかになったことは、大きな成果であったといえる。</p> <p>また、普及啓発に関しては、今までの口コミやテレビなどでの情報提供に加え、インターネットを活用した動画配信、各種関連イベント利用した広報などが効果的に働くこと、興味が湧くようなイベントの構築、セルフケアを行うための取り組みの必要性など、新たな課題も見出すことができた。</p> <p>今後、介護予防に関する取り組みに関して、人々の関心を引くための試みを地域の住民と進めていくことができるのか検討していく必要があり、研究をさらに深めていきたいと考えている。</p>